

## 会 議 概 要

会議の名称	令和5年度第1回社会教育委員会議
開催日時	令和5年5月10日(火) 13時30分 開会 16時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、毛利委員、鈴木委員、西倉委員、菅原委員、佐上委員 8名  教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、鈴木主事、佐藤主事
欠席者名	平野委員、杉原委員、渡辺委員、工藤委員、三橋委員、高野委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 議 事 議案第1号 委員長及び副委員長の選出について 議案第2号 令和5年度社会教育推進計画(単年度計画)について 4. その他 5. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和5年度第1回社会教育委員会議案
会議録	■ 有 ( □全文筆記      ■要点筆記 ) □ 無
備考	

# てん末書

## 1 日 時

令和5年5月10日(火) 13時30分～16時00分

## 2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

## 3 会議及び用務

令和5年度第1回社会教育委員会議

## 4 出席者

社会教育委員～深谷委員長、山本副委員長、梅田、毛利、鈴木、西倉、  
菅原、佐上 各委員 8名

欠席～平野、杉原、渡辺、工藤、三橋、高野 各委員 6名

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、鈴木主事、  
佐藤主事

## 5 結果要旨

○委嘱状の交付について

- ・今回新たに委員になった西倉委員、菅原委員、佐上委員に委嘱状の交付を行った。

### 1. 開 会

### 2. 教育長あいさつ・各委員、教委自己紹介

### 3. 議 事（委員長が選出されるまで阿部教育長による進行）

○議案第1号 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長、副委員長は互選により選出するとし、各委員へ意見を伺い選出を行った。

(梅田委員)：前年度委員長、副委員長として活動いただいた深谷委員に引き続き委員長、副委員長に山本委員を推薦したい。

(各 委 員) : 承諾

⇒【委員長：深谷聡】【副委員長：山本重幸】

○議案第2号 令和5年度社会教育推進計画(単年度計画)について

・議案にもとづき事務局より説明

以下質疑応答)

(鈴木委員) : アクティブシニア向け事業でスマートフォン教室とあるが、スマートフォンの操作方法等に関する講習を行った際に、講師へ支払う謝礼金の補助があるという話を耳にしたが、今回の事業では何か補助金など活用はしているのか。

(鈴木主事) : 文部科学省にて実施している国民のデジタルリテラシー向上事業の一環として、情報通信技術講習事業補助金を活用しており、先日交付決定されている。

(梅田委員) : おもちゃ図書館について、保護者・児童が気軽に集まれる場であり、そこにはおもちゃを自由に使ったり、借りることもできたりする。そういった活動をやっている団体が他地区にあり、昨年度この会議を通じて話をさせていただいた。湧別町でも、集まれる場所がないといった保護者等の声があれば実現させたいと考えている。また、どう実現させていくかを今後協議していきたい。

(坂本課長) : 集える場所があればという話がありましたが、今回文化センターTOM ロビーの木質化工事というの、集える場所がないという考えから今年度着手する部分である。工事後も十分活用できるよう議論を進めたいと考えている。

(教 育 長) : 文化センターTOM ロビーの木質化工事は、元々町内の高校生と町長による懇談の中で、学校外で友達と気楽に集まれる

場所が少ない、居場所を作ってほしいという意見などから生まれたものである。高校生が勉強などで利用していた文化センターTOMのロビーに着目し、今年度木質化工事するに至った。また、文化センターTOMには図書館などもあり、今後湧別高校eスポーツ部の活動拠点になったりと、ロビーを活用する機会も増える。今回のおもちゃ図書館のように保護者が集まれる場所が欲しいといった声などがあれば、当然授乳室も必要になるということも想定した工事であり、工事後は、効果的に施設を活用し町民を巻き込んでさらなる社会教育の充実を図りたいと考えている。

(西倉委員) :おもちゃ図書館で伺いたい。対象年齢はどの程度を考えているか。

(梅田委員) :それも含めてみんなで検討していきたい。

(西倉委員) :話を聞いていて思いついたのが、小学校低学年を対象に実施しているチャレンジスポーツスクールで下の子がいるから一度家に帰るといった保護者も中にはいる。今後、おもちゃ図書館を浸透させる意味で、チャレンジスポーツスクールの間(1時間程度)湧別総合体育館内のキッズルームにおもちゃを入れたり、遊んでくれる方として1名ついてもらう等の活動から、文化センターTOMをメインとした活動に移行していくのはどうかと考える。

#### 4. その他

- ・社会教育委員各種研修会の実績及び予定について(資料別冊2のとおり)
- ・令和5年度遠紋地区社会教育委員等研修会開催要項(案)について

(藤本主幹) :今年は輪番制で湧別町が担当町となることから、研修テーマ

の検討、当日の役割分担(案)を記載しているので確認いただきたい。研修テーマについては今回の会議で固めたい。当日の役割は、10月上旬に第2回社会教育委員会議を予定しており、役割分担について協議したいと考えている。

(深谷委員長) : 昨年から協議をしているが中々決まらない状況である。教育委員会として腹案などがあればお聞きしたい。

(坂本課長) : テーマについては昨年から会議を通して協議いただいております、教育委員会としても検討させていただいた。案の一つとして「部活動の地域移行」をテーマにしてはどうか。現在、国は少子化や働き方改革に伴って、中学校の部活動の地域移行を推進している。学校教育の一環として実施していた部活動を、社会教育として実施していくことであり、令和5年度から令和7年度(3年間)を改革推進期間と定め、まずは休日の部活動を地域移行していくことを目標にしている。湧別町でも本年度から地域移行のあり方について検討していくこととしており、近隣市町村でも同様に検討を始めていくと考える。今後、学校教育から社会教育に移行するということは、当然、社会教育委員の方々のテリトリーにも入ることであり、案の一つとしてご検討いただければと思う。

(梅田委員) : 今回のテーマとして「部活動の地域移行」は、まだ混沌としている中で捉えきれない部分が多く、テーマとしては大きすぎるのではないかと考える。

(鈴木委員) : テーマのタイトルの問題ではないか。「部活動のあり方」等、テーマを広げられないか。

(佐上委員) : 講演会の形であれば勉強になると思うが、協議は中々難しい

と考える。

(西倉委員) : テーマが大きく絞り切れないので、議案2 ページ少年教育に記載のある内容は、部活動にも通ずる内容であることから、グループ協議で部活動の話もできるように少年教育にテーマを絞ったらどうか。「少年教育において社会教育ができること」など。

(坂本課長) : 方向性としては少年教育に着目して進めていくことによるしいか。

(各委員) : 承諾

(教育長) : 例えば「オホーツクの子どもたちの今日的課題」をテーマとして、それに伴う基調講演とすれば、広くとらえられるのではないか。(部活動関係や子供に対する ICT 関係等)

(藤本主幹) : 今回協議いただいた内容をもとに委員長、副委員長と相談させていただき決めたいと思う。

・湧く湧く「社会教育委員さんのある一日」記事寄稿の順番について

(藤本主幹) : 本年度の輪番を掲載している。6月は佐上委員にて作成。

・社会教育事業及び関係団体等予定表

(藤本主幹) : 毎月月末に資料の通り計画を送付するので確認いただきたい。

5. 閉 会 終了-16:00-

令和5年度  
第1回社会教育委員会議案

と き 令和5年5月10日(水)  
午後1時30分  
と ころ 文化センターさざ波 多目的ホール

<会議日程>

委嘱状交付

1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 議 事

議案第1号 委員長及び副委員長の選出について

職名	氏名
委員長	
副委員長	

(新委員長あいさつ)

議案第2号 令和5年度社会教育推進計画(単年度計画)について(別冊1)

4. その他  
令和5年度社会教育委員各種研修会の実績及び予定について(別冊2)  
令和5年度遠紋地区社会教育委員等研修会開催要項(案)について  
湧く湧く「社会教育委員さんのある一日」記事寄稿の順番について  
社会教育事業及び関係団体等予定表
5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

## 社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
	深谷 聡	計呂地		
	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	高野 龍彦	中湧別南町		
	西倉 めぐみ	栄町		
	菅原 恵介	中湧別東町		
	佐上 義朗	上湧別屯田市街地		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	仁木 宏紀
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	佐藤 凌也
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
ふるさと館JRY・郷土館主査	林 勇介
図書館主査(湧別図書館)	北村 公樹
図書館主事(中湧別図書館)	石垣 杏優



令和5年度

# 湧別町の社会教育

## 推進計画の概要

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる



中学生・高校生芸術鑑賞事業 半崎美子スペシャルコンサート (R5. 1. 26 於:文化センターさざ波)

## はじめに

新型コロナウイルス感染症が大きな社会問題となってから3年の月日が過ぎました。国の行動制限は徐々に緩和されてきており、アフターコロナを見据えた動きが活発になっていくことが期待されます。

しかしながら、一度衰退してしまった地域コミュニティ活動をコロナ以前に完全に戻すことは困難であり、人と人とのつながりを作る新たな方策が求められています。

湧別町の社会教育にあつては、基本理念を「ふるさとを知り、ふるさとを好きになり、ふるさとを守り育てる」と定め、町民一人ひとりが、心の豊かさや生きがいをもち生活するために、いつでも、どこでも、だれもが学ぶことのできる生涯学習社会の実現に努めています。

こうした状況の中、令和4年度1年間をかけて、社会教育委員、図書館協議会委員、スポーツ推進委員のご尽力により令和5年度を初年度とする第3次湧別町社会教育中期計画を策定いたしました。

この計画は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとして、家庭教育をはじめ少年教育から高齢者教育といった「ライフステージ」の領域と、芸術・文化、図書館、博物館、スポーツ活動などの各分野にわたり、それぞれの現状と課題を明らかにし、その上で必要な学習機会の提供など、本町の社会教育推進のための指針を示すものであります。

実行初年度となる本年度につきましては、計画の具現化に向けて施策の企画や実施、充実に努め、関係機関をはじめ町民の皆さんが地域で相互に学びあうことにより、豊かな人間性を育み、その力を地域で発揮できるよう、それぞれの分野における取り組みを進めてまいります。

今後とも、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年4月

湧別町教育委員会教育長 阿部 勉

## 湧別町社会教育の重点

### 湧別町社会教育目標（平成25年3月策定）

自ら学び、地域にいかせる人を支える

他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

### 湧別町社会教育5ヶ年のテーマ（令和5年度～令和9年度）

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

# 令和5年度 湧別町社会教育推進計画

家庭教育	1
少年教育	2
青年教育	3
成人教育	4
高齢者教育	5
芸術・文化活動と文化施設整備	6
図書館活動	7
文化財保護活動・博物館活動	8
スポーツ活動とスポーツ施設整備	9
生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備	10
令和5年度社会教育事業計画	11
資料	21

# 家庭教育

## <推進目標>

子どもは町の宝

手を取り合い、支え合って育てよう

### 現状と課題

- ◆家庭教育は全ての教育の原点であり、出発点でもあります。子どもにとって「家庭」は、家族から愛され、かけがえのない存在であることを実感し「生きる力」を養う場であるとともに、社会生活での必要なマナー等を身につける場でもあります。
- ◇家庭教育支援の大切さを地域全体で理解するために、広く周知する必要があります。また、保護者同士の交流を図る機会を創出、異世代の方々が地域で話せる場（サロン）を創設する必要があります。

### 推進項目

#### 学習機会の提供

- ・家庭教育への理解を深める研修事業を充実する。
- ・家庭教育を担う保護者が必要とする情報を発信する（情報誌やインターネットなど各種メディアの活用）。
- ・家庭教育事業の実施場所を対象者の集う場所にあわせて設定する方法を検討する。

#### 活動等の支援

- ・子育てサークル等の育成と支援を充実する。

#### 学習環境づくり

- ・子育ての悩みや喜びをわかちあえる気軽に集う場（サロン）を創設する。
- ・親子で気軽に集い遊べる場（おもちゃ図書館）を創設する。

#### 連携・ネットワーク

- ・子どもの育ちを支えるネットワークを構築する。
- ・家庭教育を担う保護者の発言が共有できる機会を充実する。
- ・子育て支援センターや図書館など、各種関係機関・団体との協力体制をつくり、連携を図る。

# 少年教育

## <推進目標>

少年は町の未来

夢に向かって力をつけよう

### 現状と課題

- ◆オンラインの普及により、友達同士で外に遊びに行く機会は減少しており、顔を合  
わせてのコミュニケーションが気薄になっています。
- ◇自然体験や異世代間交流、仲間づくり等のさまざまな体験活動の提供を求められて  
います。また、次世代を担うリーダー、指導者の養成のため、小学生から高校生・青  
年・地域まで連携した事業の展開が必要です。さらに、少年教育の受け皿としての  
地域団体の支援・育成が必要です。

### 推進項目

#### 学習機会の提供

### 課題解決の方策

- ・地域の特性を生かした数多くの体験活動の機会を  
提供し、豊かな人間性の養成を図る。
- ・年に一度は町内の子ども全員を対象とした学習機  
会を提供し、事業の充実を図る。

#### 活動等の支援

- ・子ども会や青少年指導センターを支援する。
- ・異世代や異年齢との交流機会の拡充により、コミュ  
ニケーション能力の向上を図るとともに、地域教  
育力の向上を図る。

#### 学習環境づくり

- ・小学生や中学生のリーダー養成と活用を図る。
- ・地域の成人指導者の活用を図る。
- ・小学生～中学生～高校生～青年が連携できるよう、  
青年層からボランティアを積極的に受け入れ、次  
世代につながる指導者の養成を図る。

#### 連携・ネットワーク

- ・より学習効果が得られるよう学校と社会教育が連  
携・融合した事業を推進する。
- ・児童センターをはじめ関係機関との連携を図る。
- ・学校の求めに応じ、コミュニティスクールに社会教  
育が積極的に参加協力を行う。
- ・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働す  
る地域学校協働活動を推進する。

# 青年教育

## <推進目標>

青年は町の原動力

自らを磨き高めよう

### 現状と課題

◆情報通信技術や SNS の進展によって、人や社会との関わり方の意識が変化してきており、ニーズにあった学習機会の提供が必要です。また、各青年部や青年組織と連携を図りながら、異業種の若者が地域行事やイベントなどを通して活発に交流できる機会の提供が求められています。

◇青年が地域社会で活躍する機会や、青年同士が交流する機会の提供が必要です。また、青年活動に積極的に関わる人材の発掘・育成が必要です。

### 推進項目

### 課題解決の方策

#### 学習機会の提供

- ・若者世代の生活課題の解決につながるような学習機会を提供する。
- ・20歳の集いを開催し、社会人としての意識の高揚を図る。
- ・高校生の社会参加活動を奨励・支援する。

#### 活動等の支援

- ・青年団体協議会が行う自主活動を支援し、広く周知に努める。

#### 学習環境づくり

- ・若い女性の社会参加を図る。
- ・団体リーダーの養成と活用を図る。
- ・地域活動への参加に向けて、青年が活躍できる場を提供する。

#### 連携・ネットワーク

- ・各青年組織や異業種青年同士の交流を奨励し、連携・ネットワーク化を促進する。

# 成人教育

## <推進目標>

成人は町の大黒柱

すすんで地域に関わろう

### 現状と課題

◆成人期は、職場や家庭、地域において、中心的な役割を担い社会に貢献することを期待されている時期ですが、毎日が忙しく参加の意欲がありながら難しい状況にあります。世代を束ねるリーダーとなるよう積極的に地域と関わる事がまとめられています。

◇時間的余裕のない成人期のニーズに応えられるよう、情報提供も含め参加し活躍する場を創出する必要があります。また、湧別町の歴史、産業、自然等を学ぶ機会と次世代へ伝える講師の充実を図る必要があります。

### 推進項目

### 課題解決の方策

#### 学習機会の提供

- ・幅広い学習ニーズに応える学習機会の提供と学習意欲を喚起する。
- ・ふるさとを学ぶ機会の充実を図る。
- ・既存事業（町民大学等）の魅力を広く伝える。
- ・地域に関する学習機会を提供する。

#### 活動等の支援

- ・社会教育各種団体等へ支援を図る。
- ・お互いの仕事や暮らしぶりを知り、地域を知ることにつながる学習活動を支援する。
- ・自主的に企画し実践するサークルなどの活動支援を充実する。

#### 学習環境づくり

- ・行政と町民の協働事業を推進する。
- ・参加者に関会日時や託児サービスなどを配慮した事業を行う。
- ・気軽に参加し、すすんで活動できるよう情報の提供に努める。

#### 連携・ネットワーク

- ・各種団体間の交流を促進する。
- ・関係機関との連携を図る。

# 高齢者教育

## <推進目標>

高齢者は町の知恵袋

豊かな経験を地域で生かそう

### 現状と課題

◆湧別町の65歳以上の人口は、全体の約39%（令和4年3月末）を占めており、地域の教育力を高めるため、まちづくりにおける高齢者の果たすべき役割はより大きくなっています。また、アクティブシニアと呼ばれる方々は、新たな学びを求める傾向があります。

◇高齢者が持つ知識や経験、技能を地域や次世代に伝える機会を提供し、生きがいを持てるようにする必要があります。60歳代の方たちに活躍の場を提供する必要があります。

### 推進項目

#### 学習機会の提供

- ・高齢者の興味関心を呼び起こす事業を充実する。
- ・知識や知恵をもった高齢者から学ぶ機会を拡充する。
- ・ふるさとを伝える機会を充実する。

#### 活動等の支援

- ・チューリップ生きがい大学の参加者による自主活動の促進と充実を図る。
- ・次の世代に伝承する異世代間交流事業を充実する。

#### 学習環境づくり

- ・知識や知恵を持つ高齢者を把握し、生かすようコーディネートを充実する
- ・長寿社会を生きるそれぞれの年齢に応じた学習ニーズを把握し、次世代に豊かな経験を伝える機会を充実する。
- ・少人数でも気軽に参加しやすい環境づくりに努める。

#### 連携・ネットワーク

- ・チューリップ生きがい大学と他団体との連携を図る。
- ・高齢者の豊かな経験を生かすために関係機関との連携を図る。

## 芸術・文化活動と 文化施設整備

### <推進目標>

芸術・文化は未来を生きるヒント  
創造力と豊かな心を育てよう

#### 現状と課題

- ◆心の糧となる芸術・文化活動は、一般はもとより、これからの担う青少年の創造的な能力を伸ばす為にも、大きな役割を果たすものとして充実が望まれています。
- ◇鑑賞と創造が両輪となった芸術文化活動を推進するためには、文化センターの計画的な施設整備に努め、芸術文化にふれる機会を提供することが重要です。

#### 推進項目

#### 課題解決の方策

##### 学習機会の提供

- ・町民ニーズをふまえた上で、芸術性に溢れた公演作品や、心の栄養となる娯楽性に富んだ舞台鑑賞機会の提供に努めます。
- ・青少年が優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、新たな芸術・文化活動を始めるきっかけづくりに努めます。

##### 活動等の支援

- ・文化連盟を始め、各種文化団体の自主的な活動を支援します。
- ・芸術文化奨励事業補助制度の活用促進に努めます。
- ・学習の成果を生かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用にあつめます。

##### 学習環境づくり

- ・芸術・文化事業の情報提供にあつめます。
- ・さざ波・TOM両文化センターの特徴を生かした有効活用にあつめます。
- ・文化センターの計画的な設備の更新にあつめます。

##### 連携・ネットワーク

- ・北海道や北海道文化財団のほか、他の市町村・文化ホールとの連携を図ります。
- ・文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興にあつめます。

# 図書館活動

## <推進目標>

図書館は町民の憩いの場

みんなで学び楽しもう

### 現状と課題

◆本町には中湧別図書館、湧別図書館の2つの図書館と1台の移動図書館車が配備されています。そして両館が収蔵する図書館資料数は14万冊です。乳幼児から高齢者まで幅広い世代の町民利用に対応するため常に新鮮な図書館資料の維持を継続しています。

◇今日においてはインターネットでさまざまな情報を入手できますが、情報は混在し、求めている正しい情報を入手することが難しいという側面があります。そこで、図書館が信頼性の高い書籍を保存し、図書館司書の専門性を生かした読書活動へのアドバイスを行い、的確な資料や情報を提供することが求められています。

### 推進項目

### 課題解決の方策

#### 図書館資料の収集、 整理保存

- ・町民の読書傾向をふまえ、新鮮な図書購入に努めます。
- ・両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し特徴づけた収集に努めます。
- ・整理保存した郷土資料のデジタル化に努めます。

#### 利用促進、 読書機会の提供

- ・魅力的な展示に努めます
- ・図書館システムの更新を行い、図書館資料の適切な管理と利用者の利便性の向上に努めます。
- ・ネットワークを活用した読書環境を整備します。
- ・適切な移動図書館車運行を実施し、町内全域に向けて読書活動を推進します。

#### 連携・ネットワーク

- ・「子どもの読書活動推進計画」により、子どもたちの読書環境を整備します。
- ・学校をはじめとする教育施設や保育・福祉施設との連携を図ります。
- ・町内施設・団体を窓口に、図書館資料を活用した読書活動を推進します。
- ・図書館ボランティアとの連携強化に努めます。
- ・ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。

## 文化財保護活動 博物館活動

### <推進目標>

文化財は町のキセキ 歴史を訪ねて未来へつなげよう

### 現状と課題

- ◆文化財は57か所の埋蔵文化財包蔵地と2件の北海道道指定史跡・天然記念物があり、それらを適切に後世に伝えられるよう保護活動を行っています。博物館は考古資料やはく製を中心とした湧別地区のあゆみを展示している郷土館と、屯田兵を中心とする上湧別地区のあゆみを展示したふるさと館JRYの2館あり、資料収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動を行っています。
- ◇文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と博物館資料の保存です。文化財はいかに開発行為による破壊を最小限にして保護できるか、博物館資料はいかに安定的に保存・管理できるかが課題です。その環境整備のためには、文化財等の付加価値を高めるための調査研究やその成果を公開する展示や教育普及活動が重要です。広く多くの方に文化財・博物館資料の存在や重要性を知ってもらえるか、そのための機会を提供してけるかも大きな課題です。

### 推進項目

### 課題解決の方策

#### 文化財保護

- ・次世代へとつなぐために埋蔵文化財の保護環境の整備に努めます。
- ・北海道指定史跡シブノツナイ 堅穴住居跡の調査研究を継続的に進めます。
- ・収蔵している石器、土器類の分類整理をすすめ、湧別地区の先史文化の調査研究を行います。

#### 博物館資料収集・調査研究・展示

- ・資料の整理分類を進めて、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。
- ・調査研究の成果を展示・教育普及活動へ活用します。
- ・安定的な資料保存が可能な収蔵庫を検討します。
- ・先史の展示の充実に努めます（郷土館）。
- ・子どもたちに理解しやすい展示づくりを行います。
- ・収蔵展示を行い展示資料の充実に努めます。

#### 博物館教育普及

- ・文化財を知る機会の提供に努めます。
- ・先史・開拓を知る体験学習の提供を進めます。
- ・学校利用の促進に努めます。
- ・出張学習の内容充実に努めます。
- ・学芸員の専門性・教育力を高めるよう努めます。
- ・広報を活用し、活動の周知に努めます。

## スポーツ活動と スポーツ施設整備

### <推進目標>

明日の元気は、きょうのスポーツから  
みんなで体を動かし楽しもう

### 現状と課題

- ◆町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、ニーズが多様化している一方、少子高齢化によるスポーツ団体の会員の減少や青少年の体力の低下、成人・高齢者の生活習慣病、学校運動部活動の地域移行など多くの課題を抱えているのが現状です。
- ◇誰もが体力や年齢に応じた運動習慣が形成されるよう、スポーツに親しむ機会提供と普及、施設の計画的な改修と適正な管理運営、体育協会やスポーツ少年団などと連携し、指導者の確保や担い手の育成と支援体制の充実に努める必要があります。

### 推進項目

### 課題解決の方策

#### 生涯スポーツの普及

- ・ライフステージや習熟度に応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を定期的に提供し、健康や体力づくりの増進とスポーツを通じた町民相互の交流の推進に努めます。
- ・日常的にスポーツや運動をしない方がその楽しさと効果を実感できるように、積極的な働きかけを行い、スポーツ文化の裾野を広げます。

#### 活動等の支援

- ・体育協会やスポーツ少年団など関係団体の指導者の確保や担い手の育成と自主的な活動支援に努めます。
- ・スポーツ用具等を整備することにより、スポーツを始めたい方の支援に努めます。
- ・運動指導職員やスポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及のほか、体力に応じた運動メニューの提供を図り、町民の健康増進に貢献します。

#### 学習環境づくり

- ・スポーツ団体の活動を広く紹介し、会員数の確保と活動意欲の向上を図ります。
- ・著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。
- ・部活動の地域移行を推進するため、中学生・高校生が地域でスポーツができる体制づくりを検討します。

#### 連携・ネットワーク

- ・町民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正な管理運営に努めます。
- ・保健福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。
- ・体育協会やスポーツ少年団、自治会、学校、関係団体等の連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。

## 生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備

### <推進目標>

生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ  
いつでも、どこでも、だれでも  
参加し楽しもう

### 現状と課題

- ◆さまざまな学習活動がより効果的になるよう各関係機関・団体との連携・協力を図る必要があります。
- ◇生涯学習情報の収集・提供、相談体制の充実に努め、町民の自主活動に対する支援体制の整備が必要です。

### 推進項目

#### 学習推進体制整備

- ・町民のさまざまな学習活動がより効果的になるよう関係機関や団体との連携強化に努めます。
- ・総合的に生涯学習を推進するための体制整備に努めます。

#### 施設整備・活用・連携

- ・町民のニーズを踏まえながら、利用しやすい施設の整備・機能充実や効果的な管理運営に努めます。
- ・施設間の連携やネットワーク化により、学習サービスの向上に努めます。

#### 学習情報の収集提供・ 相談体制の充実

- ・町民の学習活動を支援するため、生涯学習情報の収集・提供に努めます。
- ・多様化する学習ニーズに応じ、住民の学習活動が円滑に行われるよう相談体制の充実に努めます。

#### 指導者の養成・活用 団体活動支援

- ・町民の多種多様な学習ニーズに対応するため、さまざまな分野から指導者を発掘、養成し、人材の活用に努めます。
- ・生涯学習振興奨励事業補助金活用により、サークル等が自主的に学習活動を行う支援に努めます。
- ・ボランティアを育成するとともに、活動の支援に努めます。

#### 連携・ネットワーク

- ・社会教育委員、スポーツ推進委員、図書館協議会委員、各団体、町各部局、地域、学校との連携強化とネットワーク化を図り、生涯学習活動の推進に努めます。
- ・生涯学習に関する情報を収集、データベース化し、ガイドブック等の発行を検討します。

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	①生涯学習情報の 収集・提供・相談 体制の充実	年 間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行 （2カ月に1回）（遠軽町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,458千円	10-1 10-3
	②指導者の発掘・ 養成・活用	年 間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、 様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4
	③団体活動の支 援・育成	年 間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に 行われるよう支援を行う。	—	
	④生涯学習振興奨 励事業	年 間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会な どの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、た だし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	
	⑤施設の整備・運 営・連携	年 間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りなが ら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連 携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	①家庭教育研修会	12月	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を 啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。 健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図 る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依 頼予定。 開催場所や開催日時、方法について再検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	②健康こども課と の事業協力	年 間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援セン ター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実 を図る。	—	1-3 1-4
	③家庭教育相談	年 間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身 近に相談する機会を提供するため、湧く湧くでの家庭 教育コーナーの掲載やホームページの充実を図る。	—	1-2
少 年 教 育	①児童宿泊研修会	6/15(木)～ 16(金)	ネイバル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活 動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目 的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費105千円 （3,500円×1/2 ×60人） 需用費15千円 バス借上料96千円	2-1 2-4
	②子ども会の育 成・援助	年 間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会 や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言す る。	補助金 170千円	2-2
	③第1回子ども会 リーダー研修会	8/9(水)～ 10日(木)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が 進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを 学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。ま た、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会 リーダー研修会	R6 3/9(土)～ 10日(日)	紋別市生涯学 習センター			
	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや 礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導する ことで、指導者と参加者の地域におけるつながりづく りを目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活 性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人 まで対象。	報償費24千円 需用費61千円	2-1 2-3
	⑥第55回新春交 歓カルタ大会	R6,1/21 (日)				

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目	
少年教育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年 間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 手数料1千円	2-1 2-2 2-4	
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/1(火)～ 3(木)	新篠津村 (派遣年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。令和5年度は友好都市20周年となる。	報償費90千円 需用費10千円 バス借上料 360千円		
青年教育	①青年団体の育成・援助	年 間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田セタまつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4	
	②令和6年20歳の集い	R6.1/7(日)	文化センター さざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費499千円 需用費41千円	3-1	
成人教育	①第47回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	4-1 4-2 4-3 4-4	
	②第13回ふるさと講座	11/11(土)	未 定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「リアルマシン」。	講師謝礼30千円		
	③第11回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	6/4(日)	川西地区	普段見落としがちなの町の価値(＝お宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。今回は川西地区のキング式牛舎や遺跡を訪ねる。	講師謝礼30千円 バス借上料55千円		
	④PTA団体への援助	年 間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円		4-2 4-4
	⑤ボランティア団体との連携	年 間	文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—		
高齢者教育	①チューリップ生さがい大学の開設	年 間 (月1回程度)	文化センター TOM・さざ波 ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費269千円 需用費36千円 印刷製本費80千円 借上料683千円	5-1 5-2 5-3 5-4	
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年 間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—		
	③アクティブシニア向け事業	年 間	文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。	報償費480千円		
	④高齢者向けスマートフォン教室	6/29(木) 30(金) (1日2講座)	文化センター さざ波	高齢者のデジタル活用力向上のためスマートフォン教室を開催する。	—		
芸術の振興文化活動	①文化団体の育成援助	年 間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4	
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年 間	文化センター TOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4	
	③幼児芸術鑑賞会	7/20(木)	文化センター さざ波	幼児対象 公演内容 ひのき屋のわいわい音楽会	公演料 500千円	6-1	

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
芸術・文化活動の振興	④児童芸術鑑賞会	9/20(水)	文化センター さざ波	小学生全学年対象 公演内容 ストリンググラフィアンサンプル	公演料 500千円	6-1
	⑤中学生芸術鑑賞会	8/28(月)	文化センター さざ波	中学生全学年対象 公演内容 もったいないミュージカル「SCRAP」	公演料 500千円	
	⑥一般芸術鑑賞会	R6.3/16(土)	文化センター さざ波	町民対象(1公演) 公演内容 プリエールプロデュース 「あぶくの流儀」	公演料 3,600千円	
	⑦子どもアート体験事業	未定	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。	—	
	⑧文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター TOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	⑨カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1
大会の開催等	①第38回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/25(日)	湧別総合 体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上)	負担金3,000千円	
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2023」	10/7(土)~ 8(日)	湧別総合 体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 3,038千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,338千円  歳出総額 3,591千円	
	③第48回町民300歳バレーボール大会	12/3(日)	湧別総合体育館・ 中湧別総合 体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品41千円 食糧費33千円	
スポーツ教室・講習会事業	【新規】 ①スポーツ王国北海道「スポーツチャレンジ教室」「コーチ・ペアレント講習会」	7月~12月 予定	未定	世界第一線で活躍するアスリート等によるスポーツ体験教室を開催し、子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を高めるとともに、指導者や保護者にスポーツの大切さを理解してもらい、子どもがスポーツに親しむ習慣が促進されることを目的とする。(北海道との共催事業) 講師：未定 対象：教室 小・中学生 講習会 指導者・保護者	スポーツ推進委員 報酬32千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ジュニアスイミングスクール	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味合わせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：野口美代子(トッカーリ湧波会) 藤田 千秋(トッカーリ湧波会) 対象：小学生	講師謝礼 24千円	
	③ニュースポーツdeあそび	R6.1月~3月 予定	湧別総合 体育館	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者：スポーツ推進委員 対象：18歳以上(高校生を除く)40歳未満 内容：ニュースポーツを実施。	スポーツ推進委員 報酬32千円	

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	④かけっこ教室	5/20(土)	百年記念広場	正しい走り方の基本や技術を学ぶことにより、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりにつなげることを目的とする。 講師：仁井裕介氏	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	⑤ジュニアスケート教室	R6. 1月予定	芭露スケートリンク	町内の小学生に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也(芭露) 松本桃子(芭露) 藤本祐司(教委職員) 対象：小学生	講師謝礼 24千円	
	⑥クロスカントリースキー教室	R6.1/27(土)	五鹿山スキー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：小学生～一般町民	スポーツ推進委員 報酬7千円	
	⑦フィットネススクール	4月～3月	湧別総合体育館・武道館	エクササイズとトレーニング機器を使ったトレーニングを行うことにより、町民の健康維持増進と体力の向上を図る。 ①エクササイズ ②トレーニング機器を使った指導 講師：北見市(株)PHYSIT(フィジット)スタッフ 対象：一般町民	委託料1,200千円	
⑧トレーニングスクール	湧別総合体育館(2階トレーニング室)		個々に合ったトレーニングメニューやカルテにより、運動の効果や成果を実感してもらい、町民の健康維持増進と体力の向上を図る。 ①個別トレーニングメニュー、カルテの作成 ②正しい器具の使い方・運動相談 講師：北見市(株)PHYSIT(フィジット)スタッフ 対象：一般町民			
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	町内の小学1年生から3年生を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。 <b>※事業内容は変更になる場合有</b>  5月 かけっこ教室・入学式(湧別総合体育館) 6月 フットベース(湧別総合体育館裏) 8月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 9月 五鹿山マラソン(湧別運動公園) 10月 柔道教室(湧別総合体育館) 11月 ニュースポーツ体験(湧別総合体育館) 12月 フロアボール(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 タグラグビー(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館)  指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：小学1年生～3年生	講師謝礼  パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円  スポーツ推進委員 報酬269千円	9-1 9-2 9-3
	②巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随 時	管 内 道 内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 遠軽町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 清里町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 新ひだか町	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	9-2
団 体 活 動 の 育 成 援 助 等	①少年スポーツ団体の育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金711千円	
	③大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。(湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。(湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,238千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
施設の整備活用	①施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報周知等 R5よりインターネット（スポあんネット）にて各自加入する。（加入依頼書による加入手続きはR4を以て終了）	手数料1千円	9-1
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年間	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,270千円	7-1
	②利用促進、読書機会の提供	年間	両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		
				インターネットによる情報発信を行う。 ・デジタル資料の公開 ・事業のお知らせ ・司書によるおすすめ本の紹介 ・図書館だより、新着図書案内		
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス		
	③ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートパック（絵本などが入ったバッグ）をメッセージと共に手渡す。また、就学時健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。  協力（バッグ制作） ・ルピナスの会	資料費（絵本） 142千円	7-2
	④絵本くらぶ	年間 (毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。（登録制）		
活動	⑤移動図書館車の運行	年間	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等		7-3
	⑥学校図書館支援	年間	町内学校	・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布 ・読書通帳の提供		

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目	
図 書 館	⑦古本コーナー	年 間	両 館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		7-2 7-3	
	⑧特別展示	9月～10月	両 館	町民大学講師著作展示			
		年 間	両 館	テーマ：年中行事			
		4/23～ 5/10	両 館	子ども読書週間			
		10/27～ 12/5	両 館	読書週間			
		6/10～ 6/24	中湧別 図書館	絵本原画展「チリとチリリ ちかのおはなし」（どいかや ／作・絵）	著作物使用料 30千円		
	年 間	両 館	協力展示（展示スペースの貸出）	—			
	活 動	⑨連携・ネット ワーク	年 間	両 館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽 部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部）		7-3
			年3回	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
			会議3回 研修1回	湧別 図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修（町内学校図書館）		
7月～9月			両 館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応 援しよう」キャンペーン参加			
文 化 財 保 護 活 動	①文化財の保護 (1) 埋蔵文化財	年 間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 *7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 1,038千円  印刷製本費 248千円	8-1	
	②文化財の保護 (2) 自然関連	年 間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整			
博 物 館 活 動	①博物館資料(1) 収集	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		8-2	
	②博物館資料(2) 整理・保管	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布等） ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧芭小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務			

## 令和5年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
博 物 館 活 動	③博物館資料(3)展示	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常設展示更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説パネルの追加と更新</li> </ul> </li> <li>○収蔵資料展示                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘調査速報展（仮）</li> <li>・「発掘された日本列島2023」文化庁主催への協力                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>*シブノツナイ竪穴住居群の写真・説明文を提供</li> </ul> </li> <li>①山梨県立考古博物館 9/16～10/29</li> <li>②対馬市博物館（長崎県）11/11～1/8</li> <li>③平城宮いざない館（奈良県）1/20～2/11</li> </ul> </li> <li>○収蔵展示室整備</li> </ul>		8-2
	④調査研究	年 間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>【博物館資料（開拓期）の保存・活用】</li> <li>○保存                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎屯田関連情報の収集</li> </ul> </li> <li>○活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開拓期の衣食住</li> <li>・冬期の生活</li> </ul> </li> <li>【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】</li> <li>○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シブノツナイと他の道内竪穴群との比較研究</li> <li>・擦文集落形成に関する調査研究</li> <li>・発掘出土資料の自然科学分析</li> </ul> </li> <li>○教材研究                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究</li> </ul> </li> <li>○その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等研究者との共同研究</li> </ul> </li> </ul>		
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修 会・講座	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学校授業・研修会・講座】</li> <li>○開拓の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>（博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施）</li> <li>・労働体験（鋸・斧・鉋）</li> <li>・開拓期の衣体験</li> <li>・囲炉裏疑似体験（屯田生活体験館）</li> </ul> </li> <li>○先史文化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>（文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供）</li> <li>・先史の工夫を学ぶモノづくり学習（土器・勾玉）</li> <li>・遺跡に親しむフィールドワーク</li> <li>・遺跡の知識を深める講座</li> <li>遺跡調査報告会（11月予定）                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>*調査成果に応じて実施を判断する</li> </ul> </li> <li>・発掘調査の現地説明（主に学校を対象）</li> <li>・発掘調査を通じた大学との連携</li> </ul> </li> </ul>	講師謝礼 70千円	8-3
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年 間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>【広報・情報提供】</li> <li>○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP）</li> <li>○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）</li> </ul>		

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和5年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター タ ー	子ども会フットベースボール大会	7月2日 (日)	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	10月1日 (日)	開盛小→中湧別小		
	子ども会ミニバレーボール大会	11月12日 (日)	中湧別総合体育館 湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会	(夏) 8月9日(水) ~10日(木) (冬) 3月9日(土) ~10日(日)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/29(日)	文化センター さざ波(芸能)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
		展示の部 10/14(土) 15(日)	文化センター TOM(展示)		
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	7/10(月)	文化センター さざ波	大黒摩季30th Anniversary Best Live Tour	
		10/22(日)	文化センター さざ波	はいだしょうこ&恵畑ゆうファミリーコンサート	

## 令和5年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2023	9/10(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
スケート協会	第54回湧別町スケート大会	2/3(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児の部、小学生の部、中学生の部、一般の部、アトラクション（人間ダイビング他）	
実 行	チャレンジデー2023	5/31(水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	
委 員	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：20名予定	
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
会	湧別原野林ツクノスカトリスキー大会	R6. 2/25(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

令和5年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センターTOM	排気ファン修繕	650	
	インターロッキング補修工事	530	
	ロビー木質化工事	20,600	
	個室型ベビーケアルーム購入	3,600	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事（全7期中2期目）	37,800	
湧別屋内ゲートボール場	LED化改修工事	5,050	屋内45灯 外灯6灯
五鹿山スキー場	リフト非常用制動機取替工事	2,628	
	グレンデ拡幅工事	10,000	
	支柱クッションマット購入	891	
	コース安全ネット購入	1,417	
中湧別図書館	大型ロールスクリーン更新修繕	1,030	
ふるさと館JRY	トイレウォシュレット化修繕	537	
	ボイラー煙突清掃整備修繕	2,240	

## 社会教育委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	深谷 聡	僧侶・町民芝居	計呂地	
副委員長	山本 重幸	団体職員アトピアクラブ 会員	錦町	
	梅田 唯士	ふるさとから学ぶ会	上湧別 屯田市街地	
	平野 寿雄	農業・青少年指導センター	上湧別 屯田市街地	
	杉原 武純	農業・PTA	旭	
	毛利 美紀子	自営業・商工会女性部長	中湧別北町	
	渡辺 香織	体操指導士	中湧別南町	
	鈴木 由美子	自営業・商工会女性部	栄町	
	工藤 雄希峰	漁業・青少年指導センター	登栄床	
	三橋 裕介	商工会	中湧別南町	
	高野 龍彦	湧別高等学校長	中湧別南町	
	西倉 めぐみ	主婦	栄町	
	替原 恵介	元青年団体協議会・会社員	中湧別東町	
	佐上 義朗	上湧別小学校長	上湧別 屯田市街地	令和5年4月28日～

## 図書館協議会委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
	内野 静香	国際交流推進委員	港町	
	菊地 京子	学校支援員・リーグ倶楽部たんぽぽ	錦町	
	菊地 得典	僧侶	上芭露	
	藤井 清美	商工会女性部	中湧別北町	
	三澤 祥弘	生活相談員	中湧別東町	
	佐上 義朗	上湧別小学校長	上湧別 屯田市街地	令和5年4月28日～

## スポーツ推進委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	石川 克己	団体職員	錦町	
副委員長	小橋 百合香	学校教員	中湧別南町	
	黒田 志津保	団体職員	中湧別中町	
	水牧 一郎	会社員	中湧別南町	
	白田 ゆかり	団体職員	栄町	
	木村 栄	漁業	芭露	
	峯田 ゆかり	団体職員	上湧別 屯田市街地	
	海谷 政貴	団体職員	中湧別北町	
	岸下 彩乃	学校教員	中湧別南町	
	藤崎 俊介	学校教員	中湧別南町	
	遠藤 真愛	団体職員	東	
	松本 桃子	農業	芭露	

○教育委員会社会教育関係職員

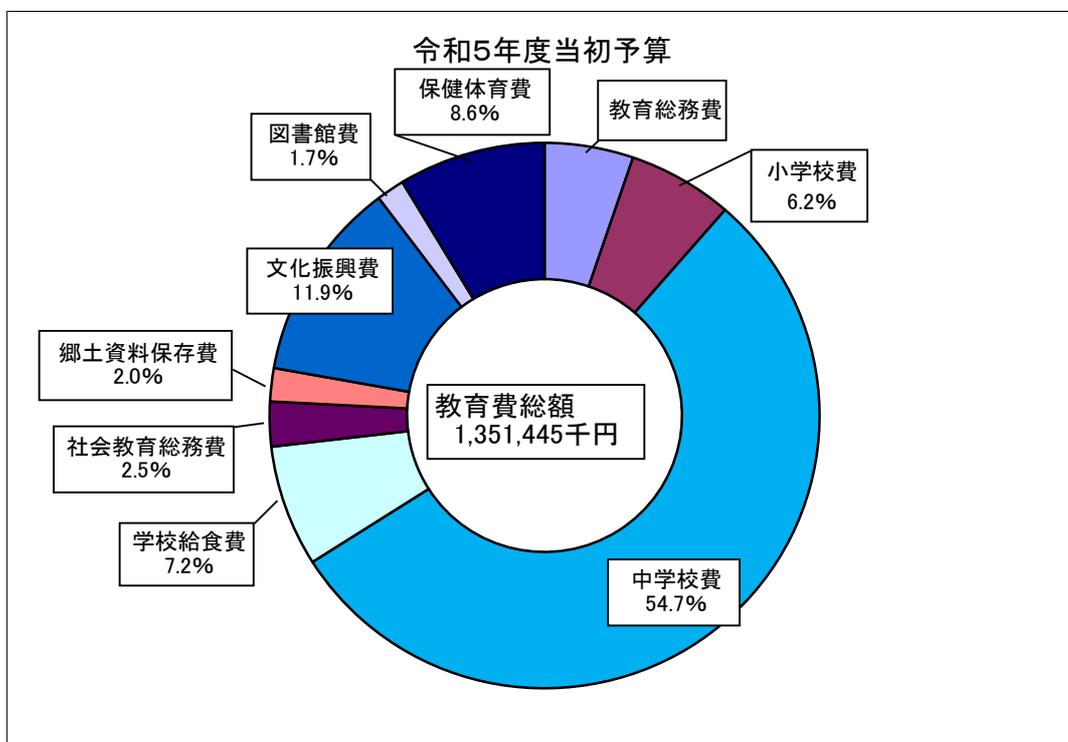
教 育 長
阿 部 勉

課 長	課長補佐・主幹 (グループリーダー)	主 査	主 任 等
坂本 雄仁	社会教育G 藤本 祐司	仁木 宏紀	鈴木 健太 佐藤 凌也 三浦 茉畝 石塚 洋司 (教育アドバイザー)
参事 中島 一之	図書館 (中島 一之) (館長)	北村 公樹 (湧別図書館)	石垣 杏優 (中湧別図書館)
	ふるさと館JRY 郷土館 (中島 一之) (館長)	林 勇介	

Gはグループ、( )は兼務職員

# 教 育 予 算

一般会計当初予算 10,236,000千円（前年度： 9,710,000千円）  
 に対する  
 教育費割合 13.20%（前年度：13.89%）  
 社会教育費割合 3.54%（前年度：3.71%）



教育費  
 住民一人当たり 168,216 円

社会教育費  
 住民一人当たり 45,106 円

（R5.3月末現在 8,034 人）

## 関係団体補助金

補助金交付団体	補助金(単位:千円)		構成団体数
	令和5年度	令和4年度	
青少年指導センター	170	250	20
青年団体協議会	160	160	—
P T A 連 合 会	180	180	7
文 化 連 盟	350	350	23
体 育 協 会	711	735	17
ス ポ ー ツ 少 年 団	600	600	10

## 教育費内訳

(予算額単位:千円)

科	目	予算額	割合(%)	予算額計	割合(%)
教育総務費 (総務費)	教育委員会費	2,295	0.2	70,522	5.2
	事務局費	61,542	4.6		
	国際交流費	6,685	0.5		
小学校費	学校管理費	51,754	3.8	83,645	6.2
	教育振興費	31,891	2.4		
中学校費	学校管理費	721,824	53.4	737,426	54.6
	教育振興費	15,602	1.2		
学校給食費	学校給食費	97,470	7.2	97,470	7.2
小計		989,063	73.2	989,063	73.2
社会教育費 (総務費) (民生費)	社会教育総務費	32,887	2.4	35,749	2.6
	企画費	2,500	0.2		
	児童福祉総務費	362	0.0		
	郷土資料保存費	26,690	2.0	26,690	2.0
	文化振興費	160,734	11.9	160,734	11.9
	図書館費	22,332	1.7	22,332	1.7
保健体育費	保健体育総務費	14,054	1.0	116,877	8.6
	体育施設費	102,823	7.6		
小計		362,382	26.8	362,382	26.8
教育費総額		1,351,445	100.0	1,351,445	100.0

※割合は端数調整により合計が合わない場合があります。

社会教育施設一覧表

区分	施設名	住所	開館日・開館時間等	電話番号	備考
教育文化 関連施設	文化センターTOM	中湧別中町3020番地の1	火～日：9:00～22:00 月：9:00～17:00	2-2188	大ホール移動席382席、最大752席
	文化センターさざ波	栄町219番地の1		5-3189	大ホール固定席422席
	上湧別農村環境改善センター	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露畜産研修センター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	ふるさと館JRY	北兵村一区588番地	火～日：9:00～16:00 月：休館	2-3000	屯田兵を中心とした郷土資料の展示
	郷土館	栄町155番地の1		5-2229	郷土資料の展示
	中湧別図書館（文化センターTOM内）	中湧別中町3020番地の1	火～日：10:00～18:00 月・図書整理日：休館	2-3150	
	湧別図書館	栄町219番地の1		5-3122	
体育関連 施設	中湧別総合体育館	中湧別南町905番地の2	月：14:00～22:00 火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00	2-4186	
	湧別総合体育館	栄町155番地の1	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	
	武道館	栄町155番地の1			
	上湧別農村環境改善センター 多目的ホール	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露ファミリースポーツセンター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	湧別プール	栄町155番地の1	火～土：10:00～21:00 日・祝：10:00～17:00 月：休館 利用期間 5月～10月	5-2229	
	中湧別野球場（夜間照明付）	中湧別南町905番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4186	問い合わせ：中湧別総合体育館
	湧別運動公園（夜間照明付 野球場・テニスコート、多 目的広場）	東37番地の1	6:00～22:00 利用期間 4月～11月	5-3189	問い合わせ：文化センターさざ波
	上湧別ソフトボール場（夜 間照明付）	上湧別屯田市街地68番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4506	問い合わせ： 上湧別農村環境改善センター
	中湧別ゲートボール場	中湧別東町3019番地の1	月：9:00～17:00 火～日・祝：9:00～22:00 利用期間 屋内：通年 屋外：5月～10月	2-2188	問い合わせ：文化センターTOM
	湧別屋内ゲートボール場	栄町155番地の6	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	問い合わせ：湧別総合体育館
	五鹿山パークゴルフ場	北兵村二区100番地	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	2-3111	54ホール
	芭露パークゴルフ場	芭露2334番地の16	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	6-2138	18ホール
	五鹿山スキー場	北兵村二区100番地	10:00～21:00 利用期間 1月～3月	2-3111	
芭露スケートリンク	芭露882番地	9:00～21:00 利用期間 12月下旬～2月	5-3132	問い合わせ：社会教育課	

別冊2

令和5年度各種研修会等の予定について

研修会等	月日	会場	内容	期待人数
遠紋地区社会教育委員研修会	10/15日	湧別町	遠紋地区委員対象の研修会	14名
管内社会教育振興セミナー	11/23金	遠軽町	管内の委員対象の研修会	7名
北海道社会教育研究大会	10/20金	空知管内 オンライン	全道の委員対象の研修会	3名
地域生涯学習活動実践 交流セミナー	2/21-22 水-木	札幌市	全道の職員中心の研修会 講演、優良事例発表、分科会	1名
北海道市町村社会教育 委員長等研修会	7/13-14 木-金	札幌市	各市町村委員長等対象の研修会	2名
家庭教育支援者養成研修				

令和4年度実績			令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	備 考
月日	会場	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
10/23日	滝上町	1名	2名	2名	3名	5名	12名	5名	今年度湧別主管開催
10/16日	小清水町	0名	2名	中止	4名	5名	3名	2名	令和9年度湧別主管開催
10/14金	留萌市 オンライン	4名	中止	中止	1名	3名	4名	2名	平成29年度は全国大会を兼ねた
2/9-10 木-金	札幌市 オンライン	1名	0名	中止	1名	1名	1名	2名	令和2、3年度はオンライン開催
7/7-8 木-金	札幌市	0名	中止	中止	1名 委員長	2名 委員長 副委員長		2名 委員長 副委員長	
11/29火	オンライン	1名							

会 議	月日	会場	内容	出席
社会教育委員会議（定例会）	4月、10月 12月、3月	町内	事業計画策定、事業評価など	全員
管内社会教育委員連絡協議会	5/9 火	紋別市	総会	-

月日	会場	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	備 考
4/28木 10/28金 12/21水 3/23木	さざ波	9名 9名 11名 9名	8名 12名 11名 12名 10名	10名 10名 8名 12名	6名 5名 8名 書面	11名 12名 13名 12名	12名 14名 13名 13名	9名 10名 9名 11名 11名		
4/22金	網走市	1名	書面協議	書面協議	1名	1名	1名	1名		

令和5年度 遠紋地区社会教育委員等研修会開催要項（案）  
 ～研修テーマ『 』～

- 1 趣 旨 遠紋地区の社会教育委員等が一堂に集い、研修テーマに基づいた研究協議や各市町村の社会教育活動の成果や課題について情報交換を深めることにより、委員の資質向上を図り、今後の社会教育活動の一層の充実に資することを目的とする。
- 2 主 催 オホーツク管内社会教育委員連絡協議会  
遠軽地区教育委員会協議会  
紋別地区社会教育推進協議会
- 3 主 管 湧別町社会教育委員・湧別町教育委員会
- 4 日 時 令和5年10月15日（日） 10:00～15:00
- 5 会 場 湧別町文化センターさざ波  
（湧別町栄町219番地の1 電話：01586-5-3189）
- 6 参加対象 遠紋地区社会教育委員、社会教育関係職員
- 7 研修内容
  - (1)「開会式」
  - (2)「情報提供」 北海道教育庁オホーツク教育局 教育支援課社会教育指導班
  - (3)「基調講演」  
 テーマ：「未 定」  
 講 師： 未 定
  - (4)「グループワーク」  
 テーマ：「未 定」  
 ファシリテーター  
 北海道教育庁オホーツク教育局 教育支援課社会教育指導班
  - (5)「閉会式」 ※次年度開催地挨拶（紋別地区）

8 研修日程

9:30	10:00	10:15	10:30	12:00	13:00	14:45	15:00
受付	開会式	情報提供	基調講演	昼 食	グループワーク	閉会式	

- 9 参加申込 令和5年10月5日（木）までに別紙「参加申込書」に記入の上、  
 主管地（湧別町）宛申込み願います。（メール、郵送、FAX）  
 【申込先】〒099-6404 紋別郡湧別町栄町219-1  
 湧別町教育委員会 社会教育課社会教育グループ  
 電話：01586-5-3132  
 FAX：01586-5-3710  
 E-Mail：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

- 10 その他 ①昼食の斡旋について  
 一人 1,000円（お弁当・お茶）  
 ※希望する場合は申込書に記入の上、当日受付で市町村毎にま  
 とめてお支払い願います。  
 ②グループ分けについては、事務局で行います。  
 ③参加される委員等は、名札を着用されますよう御協力をお願い  
 いたします。

【役割分担（案）】

時間	担当係	内 容	備考
9時00分	集合	全体打ち合わせ	
9時30分	受付（数名）	名簿チェック、資料配布、弁当代徴収、領 収書配布、弁当受入	
	誘導（数名）	研修会会場に案内、会場整理	
10時00分	司会者（1名）	開会式、日程等説明、情報提供、講師紹 介、講演終了、昼食案内、その他諸連絡、 グループワークファシリテーター紹介	
13時00分～ 14時45分	グループワーク 4グループ予定 司会者（4名） 記録者（4名）	グループごと自己紹介、意見交換等	
15時00分	司会者（1名）	閉会式、次期開催地挨拶	

湧く湧く「社会教育委員のある一日」記事寄稿の順番について  
令和5年度予定

※原稿締切日の1カ月前くらい前に依頼文書を送付いたします。

社会教育委員	スポーツ推進委員	図書館協議会委員	計画	原稿締切日
	なし		R3年4月号	3月下旬
	小橋 百合香		R3年5月号	4月下旬
安瀬 勇			R3年6月号	5月下旬
	水牧 一郎		R3年7月号	6月下旬
武藤 智和			R3年8月号	7月下旬
		内野 静香	R3年9月号	8月下旬
	鈴木 義広		R3年10月号	9月下旬
杉原 武純			R3年11月号	10月下旬
	黒田 志津保		R3年12月号	11月下旬
村田 一平			R4年1月号	12月下旬
		野田 直人	R4年2月号	1月下旬
	白田 ゆかり		R4年3月号	2月下旬
毛利 美紀子			R4年4月号	3月下旬
	海谷 政貴		R4年5月号	4月下旬
渡辺 香織			R4年6月号	5月下旬
	岸下 綾乃		R4年7月号	6月下旬
鈴木 由美子			R4年8月号	7月下旬
		菊地 得典	R4年9月号	8月下旬
	木村 栄		R4年10月号	9月下旬
工藤 雄希峰			R4年11月号	10月下旬
	峯田 ゆかり		R4年12月号	11月下旬
三橋 裕介			R5年1月号	12月下旬
		藤井 清美	R5年2月号	1月下旬
	岸 貴元		R5年3月号	2月下旬
高野 龍彦			R5年4月号	3月下旬
	水牧 一郎		R5年5月号	4月下旬
佐上 義朗			R5年6月号	5月下旬
	藤崎 俊介		R5年7月号	6月下旬
深谷 聡			R5年8月号	7月下旬
			R5年9月号	8月下旬
	石川 克己		R5年10月号	9月下旬
山本 重幸			R5年11月号	10月下旬
	小橋 百合香		R5年12月号	11月下旬
梅田 唯士			R6年1月号	12月下旬
			R6年2月号	1月下旬
	黒田 志津保		R6年3月号	2月下旬

## 社会教育事業及び関係団体等 計画表

※予定は変更になる場合があります

令和5年5月		令和5年6月		令和5年7月		
1	月	チューリップフェア～6月上旬	木	北海道社会教育セミナー(札幌市)	土	湧別子ども園運動会(9:30-)
2	火		金	↓	日	子ども会フットベース大会(8:10-12:00百年記念公園)
3	水	憲法記念日	土	上湧別中学校運動会(9:00-) ゆうべつ学園運動会(9:00-)	月	
4	木	みどりの日	日	我がまち湧別町のお宝をたずねる旅(9:00-川西地区)	火	
5	金	こどもの日	月		水	
6	土		火		木	
7	日		水	チューリップ生きがい大学日帰り研修(9:00-15:00白滝)	金	
8	月		木		土	子ども園のり運動会(9:30-)
9	火		金		日	
10	水		土	チャレンジスポーツスクール②「フットベースボール」 (10:00-11:30湧別総体裏) 芭露学園運動会(8:30-)	月	大黒摩季コンサート(19:00-さざ波)
11	木		日		火	チューリップ生きがい大学「日赤看護大」 (10:00-12:00さざ波)
12	金		月		水	
13	土	湧ゆう湧くわく体験塾②チューリップフェアボランティア (9:00-12:00)	火		木	
14	日		水		金	
15	月	ホタテ稚貝放流(例年15日～31日頃まで)	木	トレーニングスクール(10:00-12:00湧別総体) 児童宿泊研修会(8:30ネイバル北見)	土	
16	火		金	↓	日	
17	水		土	湧ゆう湧くわく体験塾③パークゴルフ(9:00-12:00芭露 パークゴルフ場) 芭露保育所運動会(9:30-)	月	海の日
18	木		日		火	
19	金		月		水	
20	土	チューリップを愛でる会(9:30チューリップ公園) チャレンジスポーツスクール①「入学式・かけっこ教室」 (10:00-11:30)	火		木	幼児芸術鑑賞事業(10:30-12:00さざ波)
21	日		水		金	
22	月		木	フィットネススクール(10:00-12:00湧別総体)	土	湧ゆう湧くわく体験塾④川釣り&川遊び(9: 00-12:00開盛頭首工) 湧虹祭(未定)
23	火		金		日	↓
24	水		土		月	
25	木	フィットネススクール(10:00～12:00湧別総体)	日	100kmウルトラマラソン大会(5:00-)	火	
26	金		月		水	
27	土	上湧別小学校運動会(8:45-) 中湧別小学校運動会(8:50-)	火		木	
28	日	開盛地区運動会(9:00-) 富美・上富美合同運動会(9:30-)	水	フィットネススクール(18:30-20:30湧別総体)	金	
29	月		木	高齢者向けスマートフォン教室(10:30-12:00、13時30分- 15:00さざ波)	土	
30	火		金	↓	日	サロマ湖龍宮えびホタテまつり
31	水	チャレンジデー2023(0:00-21:00町内) チューリップ生きがい大学「大筋クラブ」(10:00-12:00さざ波) フィットネススクール(18:30-20:30湧別総体)		↓		